

## 令和3年度 第3回 運営推進会議開催報告書

会議名	大野和光園和らぎの里運営推進会議
施設名	指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里
サービスの種類	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
会議開催場所	指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里 地域交流スペース
開催日時	令和3年9月22日(水) 13:30~14:30

### <運営推進会議出席者>

構成区分	氏名	備考
利用者の家族	浦田智栄子様	
利用者の家族	井尾のり子様	
地域住民の代表者(春日三丁目上区区长)	長谷里見様	
地域住民の代表者(大野地区民生児童委員)	齊藤美和子様	
大野市民生環境部 健康長寿課	五十川美香子様	

### <施設職員出席者>

職種	氏名	備考
和らぎの里管理者 (会議録作成)	角田貴美子	
介護員(課長)	北村麻子	
生活相談員(課長補佐)	加藤隼一	欠席

### <議事録>

#### 1. 和らぎの里 管理者挨拶

#### 2. 活動状況報告について説明

- ・ 入居者・短期利用者状況
- ・ 医療状況
- ・ 行事活動状況
- ・ ボランティア受入状況
- ・ その他の報告
  - ☆入所判定委員会
  - ☆事故報告書について詳細説明
    - 転倒 3 件
    - 薬渡し忘れ 1 件
    - 鼻腔チューブ抜去 1 件
  - ☆地域交流スペースの利用
- ・ 研修内容

#### 3. 活動報告への質問や意見、その他意見交換

☆Q 毎回のよう転倒事故の報告があるが、転倒は防げないものなのか。

A その都度、再発防止策を立てて、実行できているか評価も行っているが、発生してしまう現状である。今回、同じ利用者の転倒であったり、転倒される時間帯が同じであったりしたので、再度再発防止に向けて、検討していきたい。  
病院であると、転倒のリスクがあると、すぐに拘束されてしまうが、施設では拘束は行わないので、リスクはどうしてもある。見守りはもちろんであるが、その都度対策をしっかり立てて、予防に努めていく。

☆Q 防災についての取り組みはどうなっているのか。地区では、ハザードマップについて話し合いをする予定である。地区の避難所になっているところに、和らぎの方もこられるのか。

A 水害については、大野市からは、本体篠座の施設への移送も考える様にいわれてはいるが、危険な状況になる前に、1階の利用者を2階にあげることとし、その訓練を昨年実施した。  
地区の避難所に和らぎの利用者が出向くことはない。  
今年も避難訓練を予定している。また、災害は夜間に発生することが多いこともあり、徒歩や自転車の

利用で職員がどれだけの時間で助けにこれるのかの検証も行う予定。

☆Q 入所待ちの人が87名となっているが、なかなか入所できないのか。

A 以前は150名余りの方が待機者となっていたが、入所が要介護3以上の方となってからは、原則申し込みも要介護3以上の方に限定しているため、80人台で推移している。

入所できる施設が増えたため、入所のご案内をすると、すでに他の施設に入所されていたりもう少し在宅の生活を続けたいという方も多く、実際にすぐに入所したい方の数はこれより少なくなるとはなる。また、申し込みの順番ではなく、点数評価制で、要介護度が高い方、在宅サービスを多く利用している方認知症がある方、ひとり暮らしの方などは加点があり、点数が高くなる。

次回開催予定： 令和3年11月24日（水） 13:30～